

# 日本イタリア協会



MAESTRO NAKAGAWAの百余年の軌跡

*Dal 1902-*

イタリア大使館・TOKYO. 2006年5月12日

イタリア政府最高位勲章  
 グランデ・ウフィチアーレ勲章授勲  
 (イタリア大使館大使公邸・授与式と祝賀会が開催された)  
 山口毅子氏、大谷列子氏、藤部克久氏らはじめ、  
 永年に亘る深みある人達に贈られた。



同志社学生時代の友人らを引率してクワルテットを組む。  
 母「こと」は四人の楽器とコスチュームをしつらえてくれた。  
 (母は牧三の一番のよき理解者であった)



1982年、マリオ・デル・モナコと(モナコ邸にて)



レナータ・ケバルディと(ケバルディ邸にて)



比谷公会堂を皮切りに聴衆があやしくなるまでは  
 全国各地で演奏会を開催。(ピアノ伴奏・森本東六)



二人で嵐山を散策(牧三撮影)  
 石橋先生のこの写真のフィルムはガラス製。  
 牧三は子供の頃からカメラが好きで  
 自宅には押入れを改造した暗室があった。



中川家の縁側でくつろぐ近衛秀吉氏。(牧三撮影)

SERATA  
 MUSICALE  
 IN MEMORIA  
 DI

<http://www.nipponitalia.com/>

●「たどり来し道」ほか、HPにてご参照頂けます

GRAN MAESTRO



Maestro  
*Makizo Nakagawa*

Mo. Nakagawaが愛した  
San Domenico寺院と広場  
Bologna



寺院に隣接するNakagawa邸の窓から



ハリウッド映画の名門MGMにスカウトされた  
時にMGMが撮ったプロマイド写真



故、河合半雄先生（当時文化庁長官）と共に・  
ホテルオークラにて共著出版披露パーティ（東京・京都）



ハリウッドで撮影したプロマイド



ヨーロッパアメリカから帰還したときの新橋駅。  
ビクター所属の後輩歌手（渡辺はまこ、四谷文子ら）が出迎えに駆けつけた。



関西で最初のオペラ  
「カヴァレリア・ルスチカーナ」  
（中央左・五十嵐喜芳氏、右中央・中川牧三）



関西で最初のオペラ「リゴレット」



毎回人だかりの円山公園のコンサート 指揮 中川牧三

*Ricordi*

日本イタリア協会  
ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE  
1966年4月28日に創設、発足。

創始者中川牧三 (Mo.Makizo NAKAGAWA) による大正末期からの長年に亘る活動と業績を継続する形で、  
1966年4月28日「関西日伊音楽協会」の名称で発足。



ナポリ民謡祭「中川牧三独唱会」昭和11年10月29日午後七時より  
A席2円 B席1円 管弦率=宝塚交響楽団 深川史朗指揮  
アサヒコーラス ピアノ伴奏=東貞一 主催=朝日新聞社会事業団--



日本で初めてNHK合唱団を設立、連日の  
全国版ラジオ生放送で日本中の関心を集  
めて「合唱」というものを広めた。続い  
て京都市民合唱団設立、日本で初めて合  
唱連盟を設立。



亡命ロシア貴族でモンテカルロ歌劇場の歌姫「オルガ・カラスロワ」に十代で弟子入り。声屋の自宅と  
大阪の教会の両方へ週二回レッスンに通いベルカントを習得。(写真右)



1930年代ミラノ  
留学時代(A.チエツ  
キ門下)の親友ア  
レッサンドロ・ジリ  
アーニ氏(テノー  
ル)  
ミラノスカラ座で活  
躍した。後に私財を  
投じイタリア随一の  
ベルカントの発声を  
重んじるコンクール  
「ヴェルディの声コ  
ンクール」を設立  
し、多くの名歌手を  
輩出した。



全国に流される生放送の声の芸術は当時の人の心を惹きつけた



京都一高、二高、一商、二商、当時の日本のエリート達を自ら指導して吹奏楽団を結成、世界の流行の最  
先端イタリアオペラの名曲やラベルのポレロからラテン音楽迄ヨーロッパのエスプリを戦前の円山公園で  
披露し、会場を埋め尽くした。

我が国に於けるクラシック音楽の草分けとして戦前よりオペラ・オーケストラ・合唱・吹奏楽・映  
画界等音楽の幅広い分野においての基盤作りに貢献し、それらの以後の活動に及ぼした影響は大き  
い。現在はベルカント普及運動を柱に日本のクラシック界のレベルの向上に尽くした。



平成の称号と同時に平成元年「日本イタリア協会」と改称。現在に至る。  
 初代副会長 朝比奈隆（指揮者）は、協会発足以来2001年12月29日逝去に至る迄、本協会の副会長を担う。役員のお多くは戦前からの活動に参加している。



上海での陸軍参謀部幕僚時代、自らが指揮していた東洋随一といわれた上海交響楽団の指揮者の後任に朝比奈隆氏を抜擢。戦時下の上海で繰り広げられた文化人 中川牧三の国際人としての国境を越えた外交と平和運動は後に多くの人の心を打った。



時折中川家を訪れる團伊玖磨氏の若かりし頃。古都京都をこよなく愛した。

歩けばまだ爆撃の後の灰が舞い上がる戦後まもない頃、京都、大阪、滋賀、神戸、奈良など関西一円でイタリアオペラを初演。  
 マエストロナカガワが関西で最初に初演したオペラは、スカラ座養成所留学時代に当時の大作曲家マスカーニから直に伝授されたオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」。  
 翻訳から演出、指揮、歌唱指導に至る迄すべて一人でこなした。写真左端は弟子の五十嵐喜芳氏



*Ricordi*

この協会は、イタリアの音楽および芸術に関する活動への支援および演奏会、講習会等の開催を行うと共に、日本とイタリアの音楽を中心とする芸術文化の研究、育成、振興、国際交流を図り、優れた人材に対する顕彰等を行い、もって我が国文化の発展に寄与することを目的とする。



雲上の世紀のテノール・マリオデルモナコ氏が無二の親友中川牧三の希いに応えて日本人のために開いた世界初の特別声楽公開講座はヨーロッパをはじめ世界の楽壇を驚かせた。



関西日伊協会（日本イタリア協会）主催でイタリア北部のマニン宮殿で毎年開かれた特別声楽講座はマリオデルモナコ氏の他界まで5年間続けられた。



*Ricordi*





スカラ座を総立ちにさせた黄金時代の  
大プリマドンナ・レナータ・テバルディ



半世紀以上の親友  
ジュリエッタ・シミオナート  
(シミオナート宅にて)



リーナ夫人急逝直後・ペーザロのマリオ・  
デル・モナコ邸



ミレラ・フレニとティート・ゴッビ国際  
コンクールの審査にて。

G.ロールミとP.ドミンゴ  
(メトロポリタンオペラ  
に応援に駆け付けた中川  
撮影)



カルロ・ベルゴンツィとレナー  
タ・テバルディ  
ヴェルディコンクールの審査の  
合間に。(中川撮影)



久しぶりの再会  
レナータ。スコットとマリオ・デル・モナ  
コ国際コンクールにて。

1984年4月、世界の大プリマドンナ・レナータ・テバルディを日本へ招聘。東京と大阪で夢の公開レッスンを実現。大巨匠の来日に全国の声楽家やオペラファンはときめき、比類のない完璧なベルカントの女神による指導に感動した。(写真左上)



「声楽コンクール」受賞者への授与式  
このコンクールから多くの才能が世界へ飛び立った(東京芸術劇場)



グランマエストロ・ナカガワ記念「コンクールMusicArte」受賞者達  
歴史上初、世界遺産Teatro Olimpicoにて日本の子供たちが演奏



Vicenza国立音楽院でのゲネプロ



出番直前の緊張の1コマ



Vicenza市迎賓館にて歓迎式典  
(16世紀天正遣欧使節が訪れている)



*Ricordi*





生誕一世紀祝賀会、帝国ホテルにて  
(左より) 河合隼雄氏、中川牧三、中川  
くにこ、小谷隆一氏



生誕一世紀記念演奏会 (2004年)  
京都コンサートホール



牧三氏102歳、黒柳徹子さんと。



イタリア政府最高位勲章受賞祝賀会  
イタリア大使館にて (左より) 大谷渢子氏、  
山口淑子氏、中川牧三



*Ricordi*